

苫小牧市史上巻正誤表

ページ	行	誤	正
巻頭写真		遊園地にて	公園にて
101	18	サケとヒメマスの交雑種であるアメマス	サケ科イワナ属のアメマス
107	5	～の場動植物の生活	～動植物の生活の場
182	7	今とところ	今のところ
251	4～8	このような円筒上層式土器文化が勇払平野を被っているところ、道東地方を中心に、胎土に繊維を含み、三角型を呈する肥大した口縁部、四個の山形突起と口唇部肥厚帯の下に外から施された突瘤文を持つ、北筒式土器がの断片を残盛行していた。この北筒式土器は、道東地方から石狩低地帯にまでその分布をひろげ、苫小牧市内にもそたように特している。円筒上層式が一般的に遺物が包含地から出土するのに対し、植村遺跡の墳墓内に埋葬されてい殊な遺構から北筒式土器は発見されるようである。	このような円筒上層式土器文化が勇払平野を覆っていた頃、道東地方を中心に『北筒(ほくとう)式土器』が盛行していた。この土器は胎土に繊維を含み、断面が三角型を呈するほど肥大した口縁部や、4箇所の山形突起、そして口唇部肥厚帯の下に外側から施された突瘤文(とつりゅうもん)を持つのが特徴。北筒式土器は、道東から石狩低地帯にまでその分布を広げており、苫小牧市内にもその断片を残している。一般的に円筒上層式土器が遺物包含層から出土するのに対し、北筒式土器は植村遺跡(苫小牧市)の墳墓のように、遺構から発見される傾向があるようだ。
258	14	型は楕円形に整形	形は楕円形に成形
350	11	水気のない酒粕(ペックルシラリ)	酒気を含む酒粕(ペクルシラリ)
360	4	アイ語	アイヌ語
461	9	詳らかではたい。	詳らかではない。
490	11	帰到	帰投
550	2	鈴木歳郎妻香女	鈴木歳郎妻香
554	15	～とその妻梅女の合葬墓	～とその妻梅の合葬墓
588	11	～あったのであろ か、	～あったのであろうか、
588	14	カシュヒタのの	カシュヒタの
590	14	～すましたため、	～すませたため、

苫小牧市史上巻正誤表

ページ	行	誤	正
614	16	印字不良	前行 ～さらに勇払「越」えを
618	挿絵注釈	チトセ運土屋の図	チトセ運上屋の図
692	7	ところが、	ところが、
843	写真注釈	六代 M43・8～T2・2	六代 M43・8～T2・6
844	写真注釈	七代 T2・2～T4・7	七代 T2・6～T4・7
852	17	村民	町民
904	15	前根室支庁長の飯田誠一	前帯広町長の飯田誠一
952	12	教育 国民生活	教育文化、国民生活
1203	表上段	選挙期日 38.11.3	選挙期日 38.11.21
1285	4	明治十九月	明治十九年
1510	17	ガニに罐詰工場	カニの罐詰工場
1601	11	一三〇町歩にのぼり	一三〇町歩にのぼり
1798～99	明治末期におけるマツチ軸木製造工場一覧表中 明治三九年、四一年の工場主	伊東彦一	伊東彦七
1837	4	現山なみ学園東隣付近	現啓北中学校山なみ分校東隣付近
1899	7	マンガンなども されたが	マンガンなども採掘されたが

※新聞記事の画像については、著作権の関係からマスキングしてあります